

気まぐれ通信 vol.8 2021-08-31

こんにちは！気まぐれ通信のページをご覧ください、ありがとうございます。

今回は、「森づくり支援倶楽部」を特集します。

初めて聞く名前かも知れませんが、我々「とうきょう林業サポート隊」と同じく東京都農林水産振興財団が運営しています。



メンバーさんやHPをご覧の方の中にも、毎年、花粉症に悩まされる人がいると思います。

東京都農林水産振興財団は、2006年から東京都とともに、花粉を多く飛散するスギやヒノキの人工林を伐採し、花粉の少ないスギ(※)などに植え替える「花粉の少ない森づくり」を進めています。

※：花粉の少ないスギとは、今までのスギと比べて、花粉の数が約1/100の「少花粉スギ」から種を採取し育てられた苗木です。

花粉の少ない森づくりをサポートするために、みなさんからのご支援をお願いしています。

森づくり活動への参加、東京の木・多摩産材を使うなど、花粉の少ない森づくりに参加する方法はいくつかありますが、その中に「花粉の少ない森づくり募金」があります。

今回紹介する「森づくり支援倶楽部」は、「花粉の少ない森づくり」を継続的にサポートする会員制度です。花粉の少ない森づくり募金に一定額以上(※1)を寄付された全ての方(法人も含む)が自動的に1年間(※2)会員登録されます。

※1：3,000円以上募金をされた個人、50,000円以上募金された法人

※2：会員期間は寄付をいただいた月から1年間です。



「森づくり支援倶楽部」は、「花粉の少ない森づくり」の支援活動を目的に、2006年に発足しました。会報誌の発行やメールマガジン、森づくりイベント等を通じて多摩の森林に対する理解を深めていく活動を行っています。

会員になると以下のような会員特典があります。



また、一定条件を満たす寄付金は、確定申告により所得控除または税額控除を受けることができます。

詳しくは、「森づくり支援倶楽部」のHPをご覧ください

<https://moridukuri.tokyo/club/>



「森づくり支援倶楽部」について、東京都青梅合同庁舎の中にある事務局を訪問取材しました。それによると、多くの方々が継続会員として支援を続けてくださっているそうです。

「例年は、東京の木・多摩産材を利用した木工体験などのイベントを夏休みなどに実施していますが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大により残念ながら実施できていません。

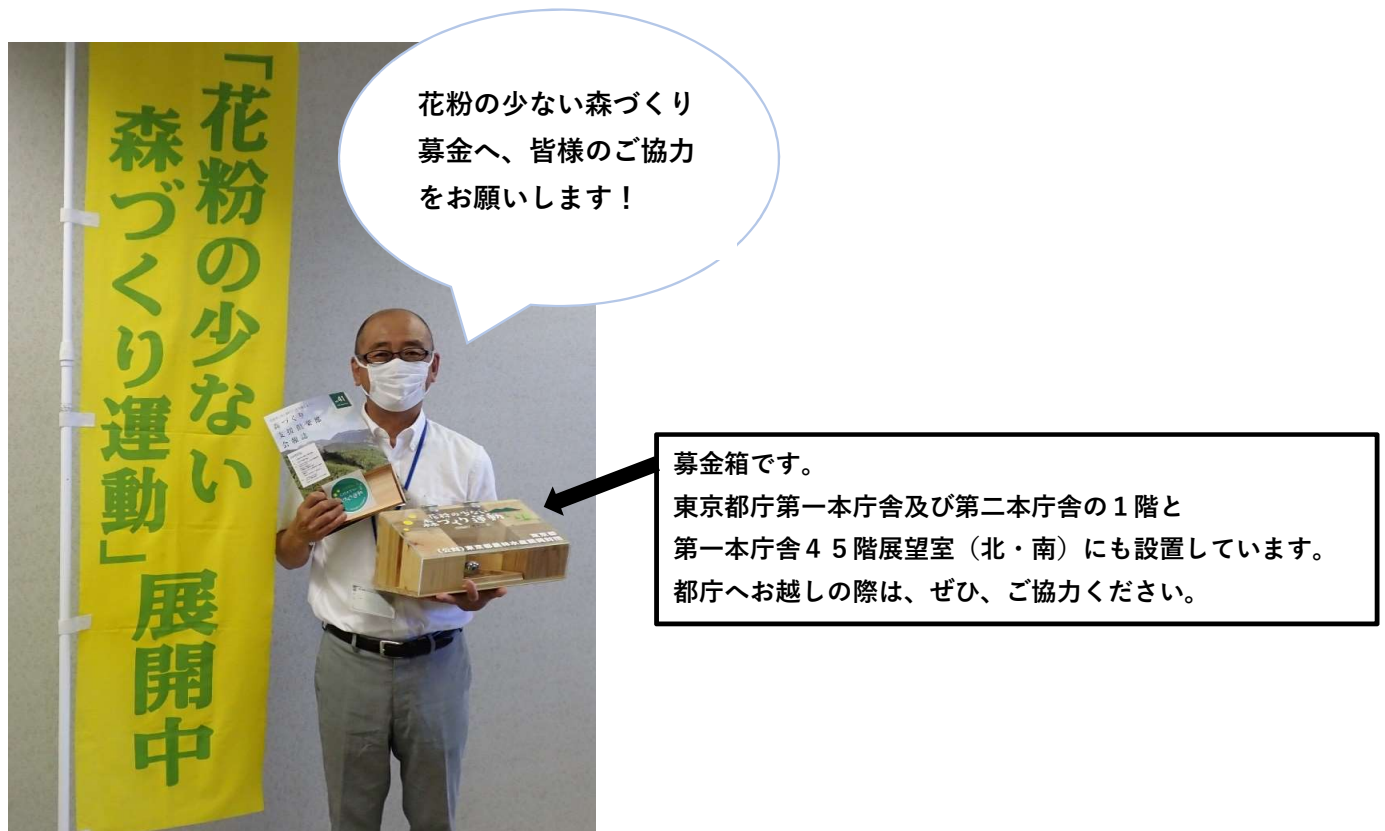
秋には植樹体験もできる森づくりイベントを計画しています
会員優先ですが、参加枠が空いている場合は一般の方の参加も可能です。
募集の開始はHPでもお知らせします。」

※：なお、新型コロナウイルス感染症の状況により中止することがあります。

会員特典の目玉の1つである協賛施設割引券は、50か所以上の施設で利用可能です。

同じく好評の木工品は、毎年喜んでいただけるように、事務局で選定して変えているそうです。3000円(個人会員)で、これらの特典がもらえるのは、お得感がありますね。

写真は、今回の取材に協力いただいた、「森づくり支援倶楽部」事務局の木下さんです。



編集後記

「とうきょう林業サポート隊」と同じ、東京都農林水産振興財団が運営している組織ですが、普段はなかなか話を聞いたりすることがありませんでした。

今回の取材で、「東京の森林を守り、育てて、活用する」という共通の目的を再確認出来ました。

昨今、特定の地域を直接支援する「ふるさと納税」が1つのテーマになっています。「東京の花粉の少ない森づくり」という「ふるさと納税」はありませんが「とうきょう林業サポート隊」の森林整備活動以外にも、「森づくり支援倶楽部」への募金(特典あり!)による支援も出来ますね。

皆さんも「とうきょうの森づくり」に参加しませんか？



**最後までお読みいただき、ありがとうございます。
また次回をお楽しみに！！**